

世界の鍼・マッサージの実態に関する研究

キルギス共和国における鍼療法と
視覚障害マッサージ師に関する調査

大学院 技術科学研究科鍼灸学コース 准教授

近藤 宏

キーワード

大学院修士課程、実態調査、キルギス共和国、視覚障害者、鍼療法、マッサージ療法

研究概要

研究目的：

キルギス共和国の鍼療法の教育や医療機関での実態を明らかにすることや視覚障害者がキルギス共和国において鍼療法を行える可能性やその課題について検討した。

研究結果：

キルギス共和国の鍼療法の教育機関や医療機関に勤務する医師を対象とした面接調査では、鍼療法の実態や視覚障害者がキルギス共和国内において鍼療法を行える可能性について言及し、視覚障害者が鍼療法を行うための課題を見出した。また、視覚障害を有するマッサージ師を対象とした質問紙調査では、対象者の大多数は鍼療法の存在の認知し、7割程度が鍼療法をやってみたいと回答し、6割程度がキルギス共和国で視覚障害者が鍼療法をできるようにしてほしいと希望していることが示され、視覚障害を有するマッサージ師の鍼療法に対する意識を明らかにすることができた。また、キルギスで視覚障害者が鍼療法を行うためには、課題が存在することが示された。

参考文献：

Dzhorobekova Shirinoj, 近藤 宏.キルギスにおける鍼療法の教育と施術実態に関する調査 キルギスで視覚障害者が鍼療法を行える可能性について. 日本東洋医学系物理療法学会誌.2020:45 (2) ;13-19.



応用例・用途

- ・今後のキルギス共和国における鍼療法の普及啓発や視覚障害者の就労を発展させるための基礎資料として役立つことが期待できる。
- ・キルギス共和国の視覚障害者が鍼療法の免許取得を目指すために必要な礎となる資料となる。将来、キルギスにおいて視覚障害を有するはり師が誕生することを期待できる。
- ・本研究の調査プロトコルは、世界各国の行われている鍼・マッサージの実態を明らかにするために応用できる。

